

2025年度日系社会研修 コース概要

NO.	9
所管センター	横浜
分野	医療・介護・高齢化対策
研修コース名（日）	高齢化対策・生活習慣病予防
受入人数	3
受入時期	上半期
来日日	2025年5月11日（日）
帰国日	2025年7月26日（土）
提案団体（日）	順天堂大学
提案団体 ウェブサイトアドレス	https://med.juntendo.ac.jp/research/course/list/globalhealthresearch.html
研修員必要資格	必要資格；保健医療福祉分野に関心のある研究者、実践家や、行政関係者
研修員に必要な 実務経験年数	実務経験、最終学歴後の実務経験等
日本語能力（選択） ※日本語能力試験認定の目安参照	不問
英語能力（選択）	英語でのコミュニケーション可
研修目標	高齢化対策・生活習慣病予防に関する公衆衛生的課題の科学的な把握方法を学び、社会的ニーズに基づく適切な対策が立案できるようになる。
期待される成果 （習得する技術）	①日本やアジア地域各国の高齢化対策の現状と課題を把握する ②基礎的疫学・統計手法（データの集め方、研究デザインの立案、基本統計量、差の検定、分散分析、多重線形回帰分析、マルチレベル分析、共分散構造分析SEM、など） ③公衆衛生学に基づく政策手法（PRECEDE-PROCEEDモデル、ヘルスプロモーション、ハイレスク・アプローチ、ポピュレーション・アプローチなど）
研修計画 （内容）	1. 講義；①基礎統計の解説、②医学部公衆衛生講義の聴講（日本語能力上可能なら） 2. 実習；①大学院レベルのゼミ、②抄読会、③月例勉強会への参加 3. 演習；①実地調査への参加、②データ入力、③データ解析（SPSS、SAS、Stata） 4. 視察；大学病院、東京都杉並区、静岡県伊豆の国市、など保健医療福祉施設 5. 発表；学内研究発表会、学会での発表（予定）
本研修実施の背景 中南米日系社会の現状問題等	カリブおよび中南米諸国は、今後急激な高齢化の到来を迎える。日本は世界の中で最も早く、高血圧や糖尿病など生活習慣病対策への取り組みを開始した国であり、日本での学習・研究内容や現場視察で得られる経験は、カリブおよび中南米諸国の社会にとって大いに参考になるとと思われる。
応募希望者への特記事項	これまでに、ブラジル、ポリビア、キューバ、メキシコなど様々な国から研修を受け入れています。